

# あさくち 市議会 だより

平成23年6月定例会

# No. 10

平成23年8月1日発行

## 【主な目次】

6月定例会を開催……………	P2
委員会視察研修の透明性を確保…	P4
委員会レポート……………	P5
議員研修会を開催……………	P7
議員11名が市政を問う ……	P8



第5回浅口いいところ写真コンテスト最優秀作品「花火」(撮影：小笠原一嘉氏)

※あさくち花火大会が8月20日(土)に開催されます。

# 議員報酬962万円削減を含む 一般会計補正予算を可決

## 6月定例会を開催

6月定例会を6月7日から23日までの17日間の会期で開催しました。

初日に、平成23年度一般会計補正予算案など18件が上程され、閉会中の委員会で結論の出た陳情1件については不採択としました。

二日目からの一般質問では11名の議員が市政を問いました。

四日目には、議案に対する質疑を行い、専決処分事件7件、人権擁護委員の諮問1件を原案のとおり可決。また議員より委員会視察研修に関する決議案が提出され、質疑の後、補正予算案などの議案は各常任委員会に、決議案は議会改革特別委員会にそれぞれ付託し、詳細について慎重に審査を行いました。

最終日には、委員会審査の概要について委員長報告があり、委員会視察研修に関する決議案、新設条例議案1件、条例の一部改正議案2件、道路認定議案1件及び一般会計補正予算案1件をすべて原案のとおり可決。また保育制度改革に関する陳情を採択し、政府関係機関に意見書を送付することとしました。

## 補正予算

## 一般会計補正予算 総額5,771万円を可決

補正後総額129億9,471万円(対前年比－6.5%)

### 一般会計補正予算（歳出の主なもの）

区 分	事 業 名	予 算 額
議会費	議員報酬減額	▲962万円
	議長交際費減額	▲15万円
総務費	東日本大震災被災地支援事業	84万円
民生費	天草公園遊具設置事業	2,531万円
土木費	都市計画再編に関する土地利用調査検討等事業	1,000万円
消防費	災害備蓄品購入事業	234万円
教育費	非行防止・不登校児童生徒等支援事業	113万円



天草公園遊具設置場所



災害備蓄品を購入

## 条例等

### ● 浅口市環境基本条例の制定

【原案可決】

環境の保全について基本理念と施策の基本事項を定め、市民の健康で快適な生活を確保することを目的に制定するものです。

### ● 浅口市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

環境審議会を新たに設置することにより、同審議会の会長等の報酬に係る規定を加えるものです。

### ● 浅口市公民館条例の一部を改正する条例

【原案可決】

浅口市中央公民館の調理室を廃止し大会議室とし、視聴覚室とともに料金を変更、貸し出しができるようにするものです。

### ● 市道路線の認定

【原案可決】

新規事業認定による5路線及び管理移管による1路線を認定するものです。

## 専決処分

### ● 浅口市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【承認】

地方税法等の改正により、国民健康保険税に係る基礎課税額、後期高齢者医療支援金課税額、介護納付金課税額の限度額をそれぞれ改正するものです。

### ● 浅口市過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例

【承認】

過疎地域自立促進特別措置法関係の省令の一部改正の施行に伴い、地方税の課税免除または不均一課税に伴う措置の適用期限の延長等を行うものです。

### ● 浅口市老人医療費給付条例の一部を改正する条例の一部を改正する等の条例

【承認】

老人医療費受給資格者の医療機関等での負担割合1割が平成23年度も延長されるための経過措置期限の延長と、受給資格要件者がいなくなるに伴い、浅口市老人医療費給付条例を廃止するものです。

### ● 浅口市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【承認】

出産育児一時金の支給額42万円が恒久措置されることに伴うものです。

### ● 浅口市税条例の一部を改正する条例

【承認】

東日本大震災による被災納税者のため、地方税法が改正されたことにより、住宅に係る損失の雑損控除について、平成23年度市県民税での適用を可能とするものです。

### ● 和解及び損害賠償額の決定

【承認】

浅口市金光一般廃棄物最終処分場内における事故について、市が相手方に損害賠償として約8万円を支払うものです。

### ● 和解

【承認】

公用車が追突された事故につき、相手方が市に損害賠償として約12万円を支払うものです。

## 報告

### ● 平成22年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

9億5217万5千円を本年度に繰り越しました。

### ● 平成22年度公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

2億5199万円を本年度に繰り越しました。

### ● 平成22年度工業団地開発事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

718万9千円を本年度に繰り越しました。

### ● 平成22年度水道事業会計予算繰越計算書

4300万円を本年度に繰り越しました。

### ● 長期継続契約の締結状況

鴨方駅南駐車場の管理機器のリースについて平成28年まで契約します。

## 用語解説

### ○繰越明許費

事業の性質上、または何らかの事情でその年度内に支出を終わらない見込みがある経費（例えば、地元との調整が長引いて工事が遅延したなど）について、翌年度に繰り越して使用することができるように議会の議決を経て定める予算をいいます。

繰越明許費は、確定額でない場合があり、新しい年度において、繰越計算書を作成することが決められています。これにより実際の繰越額が明らかになります。これを議会に報告することとされています。

## 人事案件

### ●人権擁護委員の推薦

【適任】

議会の意見として、引き続き遠藤信子氏を適任としました。任期は平成23年10月から3年間です。

## 陳情

◇次の陳情1件を採択し、関係する機関に意見書を送付することとしました。

・保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書

提出者 岡山県労働組合会議

◇次の陳情1件については、不採択としました。

・「岡山県医療費公費負担補助制度」低所得者

1・2の自己負担軽減についての陳情書

提出者 NPO法人岡山県腎臓病協議会

## 議員発議

### 委員会視察研修の透明性を

### 確保する決議を可決

●浅口市議会が実施する委員会視察研修に関する決議

【原案可決】

井上邦男議員を提出者に3人の議員が賛成者として、委員会視察研修に参加した議員が各自報告書を作成し、行程や経費等と併せて公表すること

を求める決議案が提出されました。

井上議員は、市民の税金を使用して実施する委員会視察に対し、市民の関心が寄せられており、市民への説明責任を果たすため、必要であると提案説明しました。

その後、議会改革特別委員会に付託され、審査の結果、委員会において可決すべきものと決定され、本会議においても起立採決の結果、全会一致で可決しました。本会議での質疑の概要は次のとおりです。

## 質疑

### 問 竹本浩司議員

議会改革特別委員会で2つの小委員会を設置し、議会基本条例等の制定に向け、熱心に審議を行いました。提出者及び賛成者は小委員会に所属されませんでした。これから、議会改革特別委員会で議論を行っていくときに、このような決議を出すのは納得できません。

### 答 井上邦男議員

前回の議会改革特別委員会においてもこの件について議論されていますが、はっきりとした結論が出なかったもので、提出しました。

### 問 岡邊正継議員

議会改革特別委員会でもう少し、協議するべきではないですか。

### 答 井上邦男議員

私は賛成か反対かはっきりしてほしいと思い、提案しています。

## 浅口市議会が実施する 委員会視察研修に関する決議（全文）

浅口市議会においては、議員の資質向上及び当市行政の参考とするため、常任委員会等において、視察研修を実施しています。

市民から、「税金を使用して実施される視察研修が、本当に市政の役に立っているのか」という声があり、市議会の対応等に対し関心が寄せられているところです。

こうした状況の中、市民への説明責任が強く求められており、議会への信頼をより高めるため、具体的な動きを展開しなければなりません。そこで、浅口市議会においては、本市議会が実施する視察研修において下記の事項を実施し、市民に対する説明責任を果たすことをここに表明します。

1. 委員会が実施する視察研修について、その行程、経費及び支出内容を市ホームページ等で公表する。

2. 視察研修後においては、参加した議員各自がその視察に関する内容等を報告書としてまとめ、市ホームページ等で公表する。

以上決議する。

平成23年6月23日

浅口市議会

## 総務文教常任委員会

### ● 5月18日開催

寄島小学校、金光吉備小学校、六条院小学校を視察し、学校長から各学校の状況や教育目標及び課題などについて説明を受けました。

また、執行部より金光、寄島地域の両給食センターの老朽化により、鴨方地域を含めた新たな給食センターを建築するため、今年度中に具体的な案を示すとの報告がありました。



金光吉備小学校を視察

### ● 5月23日開催

聖華保育園、三和保育園、金光一般廃棄物最終処分場を視察し、運営状況等について説明を受けました。

また、「岡山県医療費公費負担補助制度」低所得者1・2の自己負担軽減についての陳情書は、岡山県において軽減措置期間の延長を決定したため、不採択とすることに決定しました。



聖華保育園を視察

## 民生常任委員会

### ● 5月20日開催

岡山県西南水道企業団、遙照山と竜王山（佐方）のトレッキングコースの整備状況について、現地に出向き担当職員より説明を受けました。

また、岡山県都市計画区域マスタープランの原案が岡山県により作成されました。内容は、鴨方都市計画区域と旧金光町域が統一的な土地利用規制により、一体的な土地利用の実現が図られる場合には、旧金光町域を鴨方都市計画区域に編入し、新たな都市計画区域として再編することを検討するものとの説明がありました。



トレッキングコース(遙照山)を視察

## 産業建設常任委員会

### ● 6月16日開催

委員会付託された浅口市公民館条例及び特別非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正案、一般会計補正予算案（所管分）について審査し、補正予算案では、ハザードマップの作成方法及び配布方法等について質疑があり、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### ● 6月17日開催

委員会付託された浅口市環境基本条例案及び一般会計補正予算案（所管分）について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また、保育制度改革に関する陳情書については、すべての子どもに質の高い保育を補償するため、地方自治体の実情を踏まえたうえで保育制度の拡充を図ることを求めることが適当であるため、採択としました。

### ● 6月20日開催

委員会付託された、一般会計補正予算案（所管分）及び市道路線の認定議案について審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 特別委員会

### 鴨方駅周辺整備調査特別委員会

#### ● 4月27日開催

国道2号をまたぐ自由通路については詳細設計中であり、遅くとも平成24年度までには着工したい。今年度は北広場及び既存の駐輪場の整備を旧駅舎及びホーム撤去工事と平行し行うとの説明がありました。

委員から、利用状況や市民の意見について質問しました。

自由通路の階段の段差がわかりにくいという意見については、マーカーを貼り段差をわかりやすくしたとの事でした。国道2号に信号機が増えたため、渋滞が激しくなったとの意見については、玉島警察署等に改善対応を申し入れているとの回答でした。



段差を分かりやすく



渋滞改善を

### 上下水道整備調査特別委員会

#### ● 5月23日開催

上下水道の受水先（金光地域）について、平成23年度中には結論を出すことになっているが、

特に進展した内容はないとの事でした。

下水道整備計画については、来年度以降の工事や事業区域の認定の予定について説明を受けました。また、里庄町高岡・屋中地区の公共下水道への接続については、検討の結果、下水道使用料の安定的な収入が見込めるなどメリットがあり、基本的に受け入れるとの報告がありました。

### 議会改革特別委員会

#### ● 4月27日開催

議会基本条例に関する小委員会及び政治倫理条例に関する小委員会の両委員長より審査経過と概要について中間報告を受けました。

議長交際費について、6月補正予算において、15万円を減額することに決定しました。

また、委員より委員会視察研修及び政務調査費を使用する視察研修について、参加議員全員が報告書を作成し、費用とあわせ、公表するべきとの意見があり、政務調査費による視察研修については、報告書の提出を義務付けることとしました。

#### ● 6月15日、20日開催

議会基本条例に関する小委員会及び政治倫理条例に関する小委員会の両委員長より審査経過と結果について報告を受けました。

今後、作成された素案を元に、まず議会基本条例の制定に向けて協議を進めていくこととしました。



柚木政治倫理条例小委員会委員長より  
竹本議会改革特別委員会委員長に答申



中西議会基本条例小委員会委員長より  
竹本議会改革特別委員会委員長に答申

委員会付託された浅口市議会が実施する委員会視察研修に関する決議については、現在議会基本条例の制定に向け協議中であり、継続審査にしてはとの意見もありましたが、採決の結果、可決すべきものと決定しました。

## 特別委員会

### ●議会基本条例に関する小委員会

4月12日から6月7日までの間に小委員会を計8回を開催しました。素案づくりの方法としては、先例地である井原市、出雲市、伊賀市、大分市、会津若松市の5市の基本条例を参考に一項目ずつ検証し、浅口市にふさわしい議会基本条例の素案となるよう協議しました。

まとめた素案では、浅口市議会の目指す方向として、「市民に開かれた議会」、「市民の意見を市政に反映させるための政策提言、政策立案」、「分かりやすい議会」、「市民代表の立場で市政運営を監視、評価すること」の4点を議会の活動原則としました。

また、「議員間の自由討議を重んじること」、「市民の意見を的確に把握し、市民生活の向上を目指すこと」、「様々な方法で市民への情報発信に努めること」を議員の活動原則としました。

これらを実現するため、「議員の議案に対する賛否を公表すること」、「議会報告会の開催」、「一般質問における一問一答方式の導入及び執行部への反問権の付与」などを盛り込むことを提言しています。

今後、議会改革特別委員会で素案を基に議員全員で協議を進め、市民の意見も取り入れながら、制定に向けた協議を行っていくこととなります。

### ●政治倫理条例に関する小委員会

4月12日から6月7日までの計8回を開催

し、素案を作成しました。素案づくりの方法は、井原市、伊賀市、大分市、会津若松市の政治倫理条例を参考に、素案づくりを行いました。

政治倫理条例とは、議員が市民からの厳粛な信託に応える代表であることを自覚し、公正で民主的な市政発展に寄与することを目的に、議員として守るべき政治倫理基準をまとめたものです。さらに、その基準となるものに違反した疑いがあれば、市民または議員の請求により審査を設置し、調査することとしています。

また、審査請求の詳細な手続きや申請方法を定めた施行規則の素案もあわせて作成し、答申しました。

### 議員研修会を開催

—全国に広がる議会基本条例を学ぶ—

6月28日、浅口市議会として初めての議員研修会を開催しました。講師には全国で最初の議会基本条例制定に尽力された前北海道栗山町議会事務局長の中尾修氏を招き、「全国に広がる地方議会改革—議会基本条例から考える—」というテーマでの研修でした。

中尾先生は、「現在全国で議会に対する不信任が強まっている。議会が何をしているか住民には分かりづらい。議会も積極的に情報公開に取り組み、議会報告会の開催などにより、市民の声をくみ上げる努力が必要である。また、議員間の自由討議を中心に市民の立場

から議案を審査することが重要。さらに、市民が議会に参加できる仕組みを作るべきである。」など、議会基本条例を中心にした議会改革の必要性を力説されました。

議員からは、現在協議中である浅口市議会基本条例の制定に向け参考とするため、栗山町における条例制定のプロセスや、制定後の議会と住民、議会と執行部との関係の変化、議会報告会の具体的な取り組みなどについて、積極的に質疑がありました。

今回の研修により、議員各自の認識を深めることができ、今後、議会改革特別委員会において、まず議会基本条例の制定に向け、議員全員で協議を進めていきます。



議会基本条例制定に向け、研修会を開催

# 一般質問

## 議員11名が市政を問う！

6月定例会では11名の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。

### 浅口市の将来の姿を定める 一体的な都市計画について



平田 襄二議員

#### 問

岡山県南広域都市計画マスタープランの原案が岡山県によって作成され、今年度これを都市計画決定するための手続が始まっております。

この原案の中で、鴨方都市計画区域と旧金光町域が統一的な土地利用規制等により、一体的な土地利用の実現が図られる場合には、岡山県南広域都市計画区域から旧金光町域を分離して、鴨方都市計画区域に編入し、新たな都市計画区域として再編することを検討するとうたわれております。

岡山県のこの方針を受けて、浅口市6月補正予算では、土地利用調査検討等事業費として一千万円の予算が計上されております。

浅口市として今後この都市計画問題について、どのように取り組んでいくのか、浅口市としての一体的な都市計画ができれば時期をい

つ頃と踏まえて取り組んでいかれるのかお伺いします。

次に旧金光町域において、丘陵地等地形的にも、また、街路等社会的インフラが未整備で宅地開発が困難な地域が市街化区域内に含まれています。このような地域については市街化区域から市街化調整区域への逆線引を早急に岡山県へ提案し、長年の懸案事項である旧金光町域の都市計画問題を部分的ではあるものの、早期に処理してはと思いますが、これに対する見解を伺います。

#### 答 流尾理事

土地利用調査検討業務は新たな都市計画案を作成するため、鴨方都市計画区域と旧金光町域における土地利用や建物現況調査を行うものです。この案の作成には相当の期間が見込まれることから現時点ではいつ頃になるかわかりません。

逆線引きの問題については、その地域における広い総合的な観点、将来における土地利用の方向性、地元の熟度を慎重に把握してできるだけ早い時期に、見直しを行います。

#### 答 栗山市長

一体的な都市計画としての再編の時期は現時点では明確な答えはできません。しかし着実に前進していると認識しており、今後積極的に取り組んでいきます。

逆線引きの件についても、地形的に考えなければならぬ所も多くあると認識しており、適切に進めてまいります。



香取 良勝議員

## 水道料の未納について

問

他市町村は水道の未納者については直ちに水道を止めるが何故浅口市はとめないのか。水道は公営企業会計であり、水道料を支払わなかったら、そのつければ、市民の水道使用者に未納者の分、負担増になるがその点を考えて行政を行っているのか。「21年度の監査で私がきつく指摘し」水道マニュアルを平成21年度に作成したにも拘わらず、マニュアルの給水停止の手続きは、「不在であっても給水を停止し、未納者に未納料金を支払わせる目的で止水栓閉止またはメーターを引き上げる。」とあるが、平成23年6月議会まで何もしなかったのか。21年度法人未納額約4300万円、個人約900万円、不納欠

損金約100万円〔合計約5300万円〕。5年を過ぎれば時効であり、5年間請求も、止めもしなかったのは何故か。市長は職員を宝と答弁されたが、仕事を2年間もしないで市民に多大な損害を与えた職員が宝か？時効寸前の法人、個人の未納者があるが、何故マニュアルを作ったのに2年間も未納金を集金もしないで放置したのか。22年度の未収状況も作成しないのは何故か。職員の職務怠慢ではないのか。市長の答弁を求める。

答

栗山市長

徴収事務については、庁内に調整会議を設置しており、今後、滞納整理の強化に取り組んでいきます。水道の運営に当たりましては、一層の業務の効率化と経営の健全を図っていくために今後、滞納対策につきましては、毅然とした対応を行ってまいりたいと考えております。

## 工業団地について

問

工業団地造成工事は金光時代からの懸案であった。また、合併時に市の財政増につながることで設計、調査に入ったにも関わらず、調査はおくれ、規模は小さくなり、合併から5年経っても未だ先が見えない。栗山市長になって1年経ったが、浅口市は天候良好、塩害無、地震無、交通機関は最適、泥棒を捕まえて縄をなうようでは駄目

だ。市民の生活安定を考えて行政を進めて頂きたい。早急に造成を進めるべきと思うが市長の考え、今後の方針をお聞かせ願いたい。

答

田村副市長

先般の東日本大震災の影響が、今後どのような形で現れてくるかわかりませんが、このような状況だからこそ、自立できる浅口市を目標に、自主財源の確保、雇用の確保、定住促進の役割を補うため、工業団地の整備は改めて必要と考えております。

答

栗山市長

市政の重要な課題もあり、積極的な企業誘致を行っていくため、民有地の情報提供を中心として、私自らトップセールスも行ってきました。東日本大震災を教訓として一部企業の分散化を行っているという聞いています。財政面を含め、慎重、そして積極的に検討を考えております。



工業団地予定地（佐方）



柚木 毅議員

## 鴨方駅周辺工事について

**問** 長年の懸案事項であった鴨方駅が橋上化され、南と北から駅を利用することができるようになりました。特に南側の区画整理組合の皆さん及び多くの皆さんのご協力があつての完成だと思っています。

完成式が震災の影響でなくなったのは、とても残念でありました。特に、区画整理組合の関係者の皆さんにとっては、区画整理事業を無事に完成するまで、かなり大変であったと伺っています。私もその努力を見ております。無事にできたことを報告するような、簡素な式でもよかったのではないかと思います。そして、今後の周辺整備の工事予定ですが、国道2号をまた

いで南北を結ぶ道路の工事の予定はどのような予定になっているかお聞きしたいと思います。また、鴨方駅周辺の工事が全体的に完成したときは、区画整理組合の関係者の皆さんもお呼びして、何かセレモニーができればと思います。が、いかがでしょうか。



国道2号横断道路の予定は

## 答 安倉理事

国道2号横断通路の今後の整備予定については、現在、国道2号の管理者である岡山国道事務所等と、計画や施工などに関して協議しながら詳細設計を行っています。工事は遅くとも、平成24年度までに着手する予定で進めています。

また、国道2号横断通路の完成の際に何らかのセレモニーを行うことについては、鴨方駅橋上化及び自由通路等の供用開始に合わせて、さやかな記念式典を計画していましたが、急きょ中止し、市長がケーブルテレビの取材を受けることで、市民の皆さん等への供用開始の周知にかえた経緯もありますので、それにかわるものと言つては語弊がありますが、今後、時期が来ましたら執行部内で検討したいと思っています。

## 住民情報などのバックアップについて

**問** 東北地方の大震災で起きた津波で、役所で最も大切な住民情報の記録がなくなったり、一部紛失したとかというのを聞きます。戸籍、住民情報をはじめとする市民の情報は、災害により役所の機能が麻痺してシステムが壊れた場合、バックアップはどのようにしているのでしょうか。確認のために伺いたいします。

## 答 原田生活環境部長

住民基本台帳及び戸籍のデータは、本庁の市民課で、金光、寄島両総合支所分も含め、毎月バックアップを行い、本庁で厳重に保管をしています。万一、災害により住民情報等の電算システムが壊れた場合、住民基本台帳については、住民基本台帳ネットワークシステムに接続していますので、基本となる4つの情報である住所、氏名、性別、生年月日については、岡山県にデータが保存されていますので、再生することは可能です。しかし、本籍地など詳細な情報については、それぞれの市町村にしか保管をされていないため、戸籍とつき合わせて再生することになります。

戸籍については、法令により、毎年1回バックアップしたデータを所轄の法務局に提出していますので、戸籍についても再生することは可能です。

## 災害対策について

問

危機管理として、災害発生時の本庁舎および総合支所の業務継続に不安はないでしょうか。また、被災者のデータ管理として「被災者支援システム」を導入してはどうでしょうか。更に、本市の避難場所の見直しなど防災計画の再検討、自主防災組織の体制強化、防災訓練などの災害に強いまちづくりについて伺います。

答

榑田企画財政部長

現在、浅口市では、情報システムにおける危機管理の一環として、浅口市セキュリティ障害対策手順書を作成し、サイバーテロやネットワーク障害およびシステム障害が発生した場合



佐藤 正人議員

## LED電球の普及促進について

問

電力不足に伴う節電が、呼びかけられています。防犯灯のみならず、公共施設やあらゆる街灯も、省エネ・耐用年数に優れたLED電球に交換していくことが良いかと思えます。



LED防犯灯

答

榑田企画財政部長

現在、4千ヶ所を超える市内の防犯灯については、順次LED化を進め、維持管理費の抑制、使用電力の削減、二酸化炭素の排出抑制に努めてまいります。また、公共施設については、経費の問題もありますので、どのような対策がいいのか今後、十分検討したいと思っています。

## 高齢者の見守りについて

問

島根県奥出雲町のテレビ電話事業を視察してまいりましたが、本市においても高齢化が急速に進む中、地域の見守り、生活支援、健康管理、コミュニケーションなどを総合的に支援できるテレビ電話システムを導入してはどうでしょうか。

答

栗山市長

現在の浅口市の状況では、高齢者の見守りや生活支援につきましては、緊急通報システムの充実や、民生委員あるいは福祉委員の皆様による見守り体制の強化などを図っていくことが有効かと思っています。一方で、世の中の情報通信技術の発展というものは、目覚ましいものがあります。テレビ電話に限らず、光ファイバー網の整備は、近い将来、必ず必要となる時代が来ると認識しています。テレビ電話の導入にあたっては、鴨方、寄島地域の光ファイバー化の動きに対して、今後金光地域の光ファイバー化のいかといった市全体の光ファイバー網の整備とあわせて検討していかなければならない課題と思っています。



桑野 和夫議員

## 福祉と防災のまちづくりを

問

災害から市民のいのちと暮らしを守るためには、学校などの耐震化の推進、乱開発防止などのハード面も大事ですが、同時にふだんから医療や介護、福祉、子育て支援、こういう強い基盤とネットワークがある自治体、いわゆる福祉の心を持った自治体であることが大事です。福祉と防災のまちづくりについての市長の考えはいかがですか。

答

栗山市長

市民が安心して暮らしていける社会を実現し

ていくことが政治の基本責任であり、何よりも優先されるべき課題だと思っています。今後、いつ発生するか予測できない自然災害の危険性について市民と行政が共通の認識を持ち、災害に強いまちの実現にとりくんでいきます。

## 情報伝達手段の充実

問

災害による被害を最小限に抑えるためには、行政が市民にいかに早く、的確な情報を伝え、逃げてもらうことが大事。現時点でどういう情報伝達の手段があり、今後どう充実させますか。

答

榑田企画財政部長

情報伝達手段はケーブルテレビやコミュニティFMへの割り込み放送、広報車による広報、寄島地域には防災行政無線があります。今後、適切な方法を研究したいと思っています。

## 耐震補強の助成制度 実施に向けて検討中

問

耐震の強化は、個人の生命と財産を守ると同時に、公共の利益を守る上で重要な施策です。浅口市でもぜひ実施してほしい。

答

松田産業建設部長

住宅の耐震診断で補強が必要との診断をされた場合、補強計画を立ててもらい、補強工事に入るようになります。現在診断や計画については基準に合致すれば助成制度があります。補強工事の助成も必要だと認識しています。

答

栗山市長

助成に向けて検討するように指示しております。

## 子どもの医療費の無料化 さらに年令引き上げを

問

昨年10月から子どもの医療費の無料化が中学校卒業まで広がり大変喜ばれています。福祉と暮らし一番の浅口市にするためさらなる年齢引き上げをしてほしい。

答

田村副市長

この負担制度は今年度当初予算では、事業費約1億4300万円のうち、一般財源が約1億2000万円を占めています。きびしい財政状況の中、年齢の拡大はきびしく、現在の対象年齢で継続していきたい。

# 浅口市政を問う!



中西 美治議員

## 東日本大震災の教訓 「命を守るためには逃げる」と

問

今回の東日本大震災の被災の状況をテレビの報道を通して教えられたことは「命を守るためには逃げる」とであります。

津波の到達までに3時間以上あるとはいえ、震度5弱の地震も想定されています。停電になったり、電話が不通になることも考えられ地震発生後、その時々情報は全く入らなくなることも想定されます。本当に「逃げ切れる」のでしょうか。確かに「逃げる」時間は充分あったはずなのに「逃げ道がない」「逃げる場所がない」強いては「逃げ遅れる」という最悪の事態が現実味を帯びてくるような想いもいたします。地域をあげて、どこへ、どうやって逃げるのか考え、「逃げる」訓練こそが、一番大切ではないでしょうか。

答

榎田企画財政部長

ハード面の対策には限界

自主防災組織の設立を推進

今回の震災から、防波堤等のハード面の対策にも限界があり、いかに速く、安全な場所へ避難するかが重要な対策になることを学んだと言えます。寄島地域沿岸部においては、南海、東南海地震による津波被害が想定されており、県では両地震が同時に発生した場合、県内に到達する津波の高さは3mを超えるところも想定しており、寄島地域へは第1波が2・65m、到達時間は3時間52分と想定し、浸水予想区域を設定しています。市では、平成21年3月に策定した浅口市津波避難誘導計画に沿って、地域市民の参加を得て、各地域ごとの避難路や避難場所、避難時の課題など地域ごとに検討するワークショップも開催しました。寄島地域では自主防災組織が4組織設立されており、準備をしている地区もあります。さらに自主防災組織の設立を推進し、津波発生時の避難は、地区、地区での取り組みが行われるよう努めていきます。

## 幼稚園小学校、中学校での 避難訓練は

問

寄島地域の幼稚園、小学校、中学校はハザードマップによれば、避難場所でもあります。津波浸水区域にあります。

学校関係者だけでなく、地域とともに「逃

答

谷本教育次長

緊張感ある「逃げる」訓練計画を準備

学校園における避難訓練は、小・中学校では学期に1回実施し、火災、地震、不審者対応が主です。幼稚園はそれ以上の回数で避難訓練をしています。

この度の津波災害の深刻さを踏まえ、寄島地区では、大津波を想定した避難訓練の実施を検討しています。学校関係者と寄島支所長で準備会議をし、隣接する幼稚園、小学校、中学校が合同の避難訓練をする方向で研究し、準備します。教育委員会では、子どもたちの安全安心な生活を守ることが重要な責務です。改めて避難訓練の重要性を認識し、緊張感ある逃げる訓練が実施できるよう指導していきます。時期は防災担当課と連携し、効果的な災害対策を検討していきます。



大津波対策合同避難訓練



大西 恒夫議員

## 駅前・駅南駐車場の 利用料金について

**問** 駅も新しくなり大勢の方に利用していただきたいと思います。駅前・駅南駐車場の利用状況をお尋ねします。また利用料金を一日上限500円ぐらいにしてはどうですか。



鴨方駅南駐車場

## 答 松田産業建設部長

駅前が一日平均70台、駅南が一日平均12台です。現段階では利用料金の改定は考えておりません。

## 荒張地区土地利用について

**問** 荒張の地権者の方から土地利用について提案がなされておりますがどのような内容か、市として今後どのように取り扱われるのかお聞きします。

## 答 松田産業建設部長

工業用地等に使えないかということです。地権者の方々からの要望ですので、一つの情報として受け取らせてもらいます。企業等からの問い合わせがあった時に提供いたします。

## 市長交際費について

**問** 市長交際費については、本日は、議会で話すつもりはなかったのです。市長は方針を変えないとの話を伺い、あえて質問させていただきます。国際的奉仕団体、ソロプチミスト笠岡25周年、金光ライオンズクラブ50周年記念式典がありました。市長は、来賓として招待を受け本人または代理が出席しましたが、祝儀を出していませんでした。近隣の市町長は、祝儀を出しております。浅口市長交際費支出基準及び公表に関する要綱によりますと第2条第3号に会費として、会議、会合、祝賀会等への参加に係る支出

と書かれております。祝儀を出さなかった理由をお聞きします。前述の2団体から多大な支援を受けておられると思いますが、浅口市になっての5年間の資料をお願いします。

## 答 榎田企画財政部長

ライオンズクラブからは、交通安全の啓発用品や標語入り三角塔、桜の植樹などの奉仕活動を、ソロプチミストからは、毎年、図書購入費として寄付金を、昨年度は、子どもたちのための機材をいただきました。第2条第3号の規定は、会費があるものについての基準です。

## 答 栗山市長

市長交際費支出基準及び公表に関する要綱に基づき支出しております。市長交際費は、市長が、市を代表して、外部の個人や団体との交際や交渉に要する経費で社会通念上妥当な範囲において、必要最低限の支出に努めるべきと考えております。

**問** 近隣の市町長が出しています。考え直す気はありませんか。

## 答 栗山市長

しっかりとした基準に基づいて出しています。

**問** 要綱には、市政に関係する団体の祝賀会には出すように書いてあります。

## 答 栗山市長

要綱に基づいて特別な扱いはしていませんので、今後もそのつもりはありません。



岡邊 正継議員

## 水道事業の統一について

問

水道事業は公営でしかできない事業であり、自治体に深く関わりのある問題です。浅口市が倉敷市から水を購入していることについては、国から違法行為であると指摘を受けています。西南水道企業団にお願いすべきと12月定例会で一般質問をしました。その際、笠岡市と協議中との答弁がありました。12月以降の協議について、内容を教えていただきたい。

答

廣澤 上下水道部長

昨年12月以降について関係機関との協議はしていません。

問

12月から半年以上経つが、なぜ放っておくのですか。水は、乳飲み子からお年寄りまで使用する生活・生命に欠かせないものです。倉敷からの購入は単価も高く、国から違法なのでやめるよう指導されています。笠岡へ頼むほかない。倉敷市も浅口市に対して、西南水道企業団へお願いしてくださいと言っています。水利権、工事費を含め7億5千万円ほどかかり、投資効果が現れるのが19年先といわれるが、具体的な根拠を示してほしい。笠岡で水を購入すればコストダウンにもつながり、もし10円コストダウンすれば、約5千5百万円ぐらい水道料金が下がります。なぜ倉敷市と話をし、笠岡とは協議しないのですか。

答

栗山 市長

上水道については合併時の課題でありましたが、十分な議論がされないまま、時間が経過した経緯があります。受水先



岡山県西南水道企業団（鴨方浄水場）

答

栗山 市長

非常に大切なことであるからこそ、特別委員会と協議をしています。そういう結果も参考にしながら23年度中に一定の方向を出したい。私自身が倉敷市へ行ってお願ひしたことはございません。送水をとめられるということはありません。

問

水利権と工事費がかかるのは当たり前で、水は子どもや孫の代にも残さなければなりません。市民も家計を助けようといういろいろなものを安いところへ買いに行きます。水は公営事業で民間ではできません。生活に密着した問題です。なぜ笠岡と協議を持たないのですか。もし倉敷市から送水を止められたらどうするつもりですか。



井上 邦男議員

## 日曜日・祝日などの休日 及び夜の議会開催について

問

市民の方から「市議会を傍聴したくても勤務の都合で不可能である」との声が良く聞かれます。笠岡市では休日議会開催を実施されていると聞いています。本市でも実施してはどうですか。それには執行部職員の出席、庁舎の管理等、問題が生ずることが考えられますが、この件について市長の考えをお尋ねします。

答

栗山市長

休日、夜間の議会開催については、全国市議会議長会の資料によると、平成21年度中、全国

で休日の事例は4都市です。こうした場合執行部職員の出席及び庁舎管理等の問題点は、冷暖房などの光熱費や人件費、セキュリティ等の財政的な措置が必要となる事です。しかし市民の方々が傍聴しやすくなり、市民の市政参加につながることを考えられます。議会の運営は議会において決定される事項でございますので、よくご審議をいただければと思います。

問

議会の問題であることは当然ですが、執行部側としてのご意見をお聞きたいのです。もし議会がOKということになれば、執行部側も同調されるのかどうか、その点をお尋ねしたいのです。

答

栗山市長

この件については、議会が一つの結論を出されたら、執行部はそれに従いたいと思います。

## 小中学生の不登校及び給食費 の未払いについての現状は

問

市では阿藤伯海公園に適応指導教室を設置しまた学校支援地域本部の活動ということで地域のボランティアをサポートしておられます。いろいろ対策をしておられます。現在小、中学校の中で不登校がどのくらいいるのか教えていただきたい。また給食費の未払いがどのくらいあ

るのか教えていただきたい。

答

谷本教育次長

まず不登校について、この問題は浅口市にとりましても深刻な問題です。学年別に見ると小学校の高学年に増加する傾向があります。原因理由はさまざまに対応が困難であり、その結果として長期化しています。本市では小学校の不登校率は、国や県に比べて低いですが、中学校では深刻な問題になっています。

給食費の件ですが、未払い分については先生方が一時的に立て替えており、小学校では1校約4万円、中学校3校で約7万5千円あります。該当する家庭では、校長、教頭、担任等が粘り強く集金に努めております。

問

給食費未払いの件ですが、先生方が立て替えていることですが相当の額になるのではないかと心配です。今後どのように対応されるのかお聞きしたいと思います。

答

谷本教育次長

小中学生がそれぞれ卒業するまでの間に何とか解決して卒業できるように努めています。それが不可能な若干名については、担任等が追跡をお願いして集金に努めているのが現状です。

# 浅口市政を問う！



伊澤 誠議員

## 防災対策は？

**問** 浅口市では、避難誘導や避難所の設置はどのようになっていますか。避難所での毛布や肌着・食料や飲料水などの備蓄は今のところどのくらい用意されていますか。

## 答 櫛田企画財政部長

浅口市防災マニュアルのハザードマップにて、金光8カ所、鴨方12カ所、寄島14カ所に避難場所を指定しております。

現時点の備蓄品につきましては、この度の震災により被災地に一部提供しており、ちよつと少なくなっていますが、新たにボックスステイツや紙おむつ等含め備蓄品の補充に、この度の補正予算で提案しております。

## 『お日様の恵みの街・浅口』 公共施設に太陽光発電パネルを

**問** 『晴れの国・岡山』の特長を生かした岡山県のメガソーラー発電誘致が本格化してきました。天災も少なく温暖で気候風土に恵まれた浅口市へ、メガソーラー発電の誘致をとの声もよく聞かれますが、今現在どのような状況ですか。また、小・中学校や公共施設（主に避難場所となりうる施設）への太陽光発電パネルの設置と、休校や休館の日には余った電力の売電をするようにしてみているいかがですか。

## 答 松田産業建設部長

岡山県が今、20カ所の候補地を掲げており、各企業にメガソーラー誘致を行っています。浅口市では寄島干拓地C地区、D地区と鴨方六条院西工業跡地が候補地に上がっていて、C地区8件、D地区5件、六条院西に3件の業者が名乗りを上げています。

## 答 原田生活環境部長

現在、公共施設では健康福祉センター、金光公民館及び寄島公民館の3カ所に太陽光発電パネルを設置しており、また今年度は本庁舎前の消防機庫屋上に10Kwのパネルを設置予定です。小・中学校には現在、発電パネルは設置していませんが、政府も新エネルギーへの転換に政策をシフトしようとしているので、今後、国の補助金等の動向も見きわめて検討したいと考えています。

また学校などに発電パネルを設置した場合、休校日の余剰発電電力の売電については、非常に有効であると考えています。

## 太陽光発電パネル設置補助枠増を

**問** 太陽光発電パネルの設置補助を、もう少し募集件数や対象物件枠を増やしてみているいかがですか。

## 答 原田生活環境部長

本市の場合1Kw6万円で4Kwまで助成をしており、予算では50基分用意しておりますが、募集をするとすぐ満杯になる状況です。財政当局と相談しながら今後の対応について詰めていきたいと思っています。

## 答 栗山市長

昨年度、晴れの国スマートタウン浅口と銘打った地域新エネルギービジョンを策定いたしました。無尽蔵にある太陽エネルギーを活用しない手はありません。公共施設への新エネルギー導入として、国の補助金等の動向も見極めながら積極的に設置していきたいと思っています。



人と環境に優しい発電



道廣 裕子議員

## 寄島干拓地にメガソーラーの企業誘致を！

**問** 晴天の多い浅口市です。誘致のために鋭意努力していただきたい。

**答** 松田産業建設部長

寄島干拓地は有力な候補地です。C地区8件、D地区5件の企業の希望があります。企業は候補地の条件等を考え、どこで太陽光発電をするか、検討の段階です。県は、誘致に当り、1メガワットあたり2千万円で、上限1億円の補助制度を設けております。日当りのよさ、交通の利便性を立地条件の優位性として訴えていきたいと思っております。

## 国や県も推進の住宅リフォーム事業を市もとりこんでいただきたい

**問** 菅総理も支援を約束している社会資本整備総合交付金（国）で市民も喜ぶし、中小業者へ波及するので活力ある浅口市実現にとりくんではしい。（井原は4月採用で、初日1日で61件の申請があった。）

**答** 松田産業建設部長

国、県、近隣の市町村の動向もふまえ、さらなる情報収集を行いたい。

**答** 栗山市長

住宅リフォームに限らず、市内外の情報収集をつづけ、より有効な支援策を総合的に検討する必要があると思っています。

## 地域防災計画に液状化対策を！

**問** 東日本大震災の報道をみるにつけ、寄島の旧住宅地は不安です。あまりにも似ているからです。

液状化は干拓地が一番起きやすいといわれています。地盤沈下や、湖沼、河川敷など寄島に限らず危険ヶ所の点検など努めて監視をしていただきたい。

**答** 栗山市長

市役所としても、寄島の防災対策は、独自の対策が必要で、狭い地域で山と海に挟まれており、考慮する必要があると思っています。

## 公共交通バス路線の見直しはいつ？

**問** 寄島は、前の循環線を残してほしい、病院通いで困る人にはタクシー券を出したらよい。また安倉の人は、眼科、整形外科等交通の足に困り、病院を変らんといいんといわれています。とにかく、便利が悪くて乗れないのが実態で、早期に改善をしていただきたい。

**答** 櫛田企画財政部長

見直しは、利用人数、利用動向を的確につかむことが重要なので、本年度は各バス停の乗車状況や行き先、目的等の調査と路線の見直しを検討する運行計画策定調査を予定しており、その後公共交通会議に諮って決定します。



ふれあい号の見直しを

## 議員表彰

全国市議会議長会並びに中国市議会議長会より、当市議会議員が次のとおり表彰を受けました。

### 全国市議会議長会会長表彰

#### ○ 議員特別表彰

(20年以上市議会議員の職にある者)

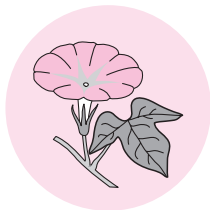
大西 洋平 (議員20年以上)

#### ○ 議員一般表彰

(10年以上市議会議員の職にある者)

田口桂一郎 (議員10年以上)

※ 在職年数の計算は、合併前の町議会議員としての勤続年数の半分が加算されます。



## 中国市議会議長会会長表彰

#### ○ 正副議長特別表彰

(6年以上市議会正副議長の職にある者)

高橋 範昌 (正副議長8年以上)

田口桂一郎 (正副議長6年以上)

#### ○ 議員特別表彰

(12年以上市議会議員の職にある者)

大西 洋平 (議員36年以上)

高橋 範昌 (議員28年以上)

道廣 裕子 (議員28年以上)

井上 邦男 (議員24年以上)

香取 良勝 (議員16年以上)

田口桂一郎 (議員16年以上)

#### ○ 議員普通表彰

(8年以上市議会議員の職にある者)

青木 光朗 (議員8年以上)

藤澤 健 (議員8年以上)

柚木 毅 (議員8年以上)

中西 美治 (議員8年以上)

原 彰 (議員8年以上)

加藤 淳二 (議員8年以上)

※ 在職年数の計算は、合併前の町議会議員としての勤続年数が加算されます。

## 東日本大震災 義援金

3月定例会における決議に基づき、議員全員が4月から6月までの間、議員報酬の15%を東日本大震災の義援金として寄附いたしました。

議員一同、犠牲になられた皆様に深い哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。あわせて被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。

## 議員報酬を 15パーセント減額

3月定例会において、平成23年7月から9ヶ月間、議員報酬を15%削減する条例改正案が可決されたことにより、962万円の議会費を減額しました。

これは、東日本大震災の影響により、地方交付税等の減額が見込まれ、その対策として提案されたもので、賛成多数で可決したものです。

### 浅口市議会義援金

**総額 3,208,500円**

(送金先)

- ・全国市議会議長会窓口 1,069,500円
- ・岩手県災害義援金募集委員会 713,000円
- ・宮城県災害対策本部 713,000円
- ・福島県災害対策本部 713,000円

※全国市議会議長会では、全国の市議会からの義援金をまとめ、被害の甚大な自治体へ直接送金しました。

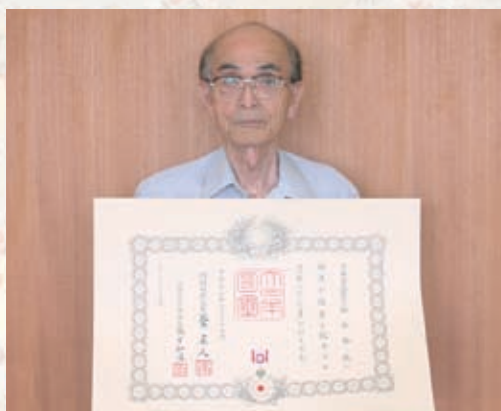
# 議会関係者3名が叙勲を受章

平成23年春の叙勲

抽井 勝敏氏に

旭日小綬章

元浅口市議会議員抽井勝敏氏が、旭日小綬章を受章されました。  
抽井氏は昭和50年から浅口市合併までの8期31年間、鴨方町議会議員に在職、議長にも4年間就任されました。また、浅口市議会議員としても4年間在職し、地方自治の発展にご尽力されました。



高齢者叙勲

井上 悦夫氏に

旭日単光章

元金光町議会議員井上悦夫氏が旭日単光章を受章されました。  
井上氏は昭和32年から5期20年間、金光町議会議員に在職、議長にも1年間就任され、地方自治の発展にご尽力されました。



高齢者叙勲

坂野 敬一氏に

旭日単光章

元鴨方町議会議員坂野敬一氏が旭日単光章を受章されました。  
坂野氏は昭和54年から5期20年間、鴨方町議会議員として在職、議長にも2年間就任され、地方自治の発展にご尽力されました。



## 9月定例議会の予定

会期：9月6日(火)

～9月26日(月)

### 〈主な日程〉

〈全て9時30分開会〉

6日…本会議

(市長政務報告、議案  
上程)

12日…本会議(一般質問)

13日…本会議(一般質問)

14日…本会議(一般質問・  
議案質疑・一部採  
決・委員会付託)

15日…総務文教常任委員会

16日…民生常任委員会

20日…産業建設常任委員会

26日…本会議(委員長報告・  
質疑・討論・採決)

※右記日程は変更となる  
場合があります。

※傍聴をご希望の方は、  
当日、市役所3階議会  
事務局で、傍聴券をお  
渡します。  
お気軽にお越し  
ください。



## 声の議会だより

目の不自由な方にも議会の  
内容をお知らせするため、  
鴨方はるか会のご協力により  
議会だよりを音訳しています。

## 編集後記

今回の主な内容は、6月定例会  
の議案の審議及び議決の状況、一  
般質問、また3月定例会以降の各  
委員会の活動レポート、議会改革  
に係る報告などです。

編集に携わる委員の最も大切な  
仕事は、ゲラ版での校正作業です。  
毎回広報委員全員で数時間かけ  
て、議事録から記事内容を精査し、  
できるだけ分かり易く表現するこ  
とに細心の注意をしています。今  
回は約6時間かかりました。

市民の皆様にはご拝読いただ  
きますとともに、議会活動につい  
ても更なるご理解をお願いいた  
します。

### 広報特別委員会

委員長 中西美治

副委員長 伊澤 誠

委員 佐藤正人 平田襄二

桑野和夫 原 彰

柚木 毅 道廣裕子

議会だよりは再生紙を使用しています